

6月 2005年国際博覧会(万博)愛知に誘致決定

7月 アジア通貨不安が本格化

8月 自己査定金を設置(19日)
この年、北海道拓殖銀行、山証券など大野金融機関の破綻、日本経済の長期低迷化がより深刻となる

11月 ビーターバンクキャッシュカードにリニューアル

2月 長野で冬期オリピック開催
早期差正措置の運用開始(旦)

4月 中津川・恵北地域勤労者互助会「ジョイセブン」加入(旦)

6月 金融監督庁発足(22日)

9月 東証株価「バブル」後の最安値を更新

10月 金融再生法施行
日本長期信用銀行、特別公的管へ

12月 金融シナリオ改革法施行(旦)
金融再生委員会発足(15日)
政府、日本債券信用銀行の特別公的管理方針決定
この年、世界各国で経済危機噴出、世界同時不況の懸念

1月 ヨーロッパ単一通貨「ユーロ」スタート

3月 税効果会計運用開始
ニューヨーク株式市場でダウ工業株平均1万ドル突破

6月 第40回通常総代会
記念講演会

懸賞金付定期預金抽選会

■地域の明るい未来に向けて

「なかしん」は平成八年五月、住宅金融公庫個人融資審査システムの導入を図った。これによって従来の審査期間が大幅に短縮され、顧客サービスの向上につながった。また、同年八月には、情報機器のパーソナル化と「コミュニケーションメディア」の進展に対応、ウィンドウズOSパソコンを業務活動に活用するべく導入した。

一方、平成十年四月には、中津川・恵北地域勤労者互助会、通称「ジョイセブン」に加入した。これにより、健康診断や各種給付金受給、イベント参加や施設利用の優待・割引など従業員福利厚生が充実した。

とろでいま、二十世紀を直前にして、新しい経済構造づくりが始まっている。その一つ、当地は次代の日本の中核となる地域としての期待が高い。ちょうど創立から四十周年の節目を迎えたいま、時あたかも創立に向けて全力を投じてきた先達の熱い思いを重ねるように、「なかしん」は地域を支える金融機関としてのスタンスを規範に、明るい未来に向けての大きな役割を担っている。

魅力的な福利厚生制度があれば、従業員は嬉しい。社長も鼻が高い。



ジョイセブン
中津川・恵北地域勤労者互助会

中津川・恵北地域勤労者互助会「ジョイセブン」加入



◆ヒトツバダゴ(中津川市苗木)
岐阜県天然記念物
(写真提供=廣見幸久氏)

第40回総代会記念講演
竹村亞希子氏の「人相学からみた経営チャンス獲得と人を見極めるコツ」



中津川信用組合
第40回通常総代会



第40回通常総代会の様子と総代会後に